

第15回地域こども支援団体連絡会 アンケート集計結果

実施日時：2019年4月19日（金）10:00～12:00

場所：大阪府教育会館高津ガーデン8階たかつ（西）

回答数：32人 参加者数：69人 回答率：46.4%

総参加数（スタッフ含む）：80人

設問1 活動事例の報告について

選択肢	1 満足	2 やや満足	3 どちらでもない	4 やや不満	5 不満	無回答	総数
回答数	12	15	4	0	1	0	32
構成比	37.5%	46.9%	12.5%	0%	3.1%	0%	100%

〔参考になったこと、印象に残ったこと〕

1 満足

- ・インシデントを共有してくださったこと。
- ・報告された4人のみなさんのお話が良くわかりました。熱い思いが伝わりました。島之内の方の報告にはちょっと驚きました。
- ・事例でボランティア受入れの留意点がわかった。保険のことについて知ることができた。
- ・ボランティアコーディネーションについて、子どもの居場所にかかわらず、見極め事例の準備が大切だと思いました。
- ・各団体が工夫していることを知れた
- ・皆さんの熱意がすばらしい。これをどう継続させるか、いっしょにできるかをもっと考えたい。
- ・活動事例は、現実的ですので、とても参考になります。
- ・詳しい現場の声が聞けて良かった。

2 やや満足

- ・インシデント事例を聞いて、やはり気をつけないといけないと思いました。
- ・ボランティア=いい人ではないということ。
- ・善意のボランティア希望者であっても不適切な対応をする、ハラスメントの可能性が高い方も参加してくるので、その対応の方が難しいと思います。
- ・それぞれのお話の内容が濃く、持ち時間が少なく思いました。私たちの団体は、今までは知り合いの方にボランティアに来てもらっていた所から、COMVOを通して広く募集するようになったので、参考になる事がとても多かったです。
- ・学生ボランティアのお話が印象のこりました。ボランティアさんのサポートも含めて、お互いが気持ちよく子ども支援ができるようになるといいなと思いました。
- ・大学生の実態（課題やのびしろ、変化と成長など）を開けた。現代社会のキーワード（シニアの「やっ」と子どもと触れ合えた」「多世代交流」など）が開けた。
- ・子ども食堂は子どものためだけの場所ではないこと。また、それが存続するためには子ども以外の人たちにも開かれた場所となり、地域に応援してもらわなければならないこと
- ・食中毒の問題をクリアするために2名で調理をされていること・・・
- 大学生の方達を育てる視点
- こども食堂は立場が弱いとの意見で、地域での認知度を上げる意識をもたれている。
- ・伝承遊びは人気があること
- ・最初の3名で十分だったと思いました。
- 具体的な実践事例を通じて、話を聞いた。様々な立場の方々がアイデアや可能性を持つきっかけになったと思います。
- ・事前に発表内容をパワーポイントなどを、データで送っていただくとペーパーレスで会議ができるとおもいます。

3 どちらでもない

- ・だらだらした感じがした。
- ・ボランティアする人に基本契約を締結する。

設問2 講演「ボランティアコーディネーションのコツ」について

選択肢	1 満足	2 やや満足	3 どちらでもない	4 やや不満	5 不満	無回答	総数
回答数	7	14	6	2	2	1	32
構成比	21.9%	43.8%	18.8%	6.3%	6.3%	3.1%	100%

〔参考になったこと、印象に残ったこと〕

1 満足

- ・ボランティアコーディネーションの話は、とても参考になりました
- ・VCOの事前準備・設計の視点は大切だと思いました。
- ・話しがとてもわかりやすかった。時間の関係で途中で終り残念であった。もっと話を聞きたかった。
- ・時間をかけてお聴きしたいお話なので改めて講演してください。

2 やや満足

・とても良かったです。グループの代表者が全てのことを決めて行っている団体である場合、これからどのように活動をひろげていくかなど相談できる場所があるのは大切と思う。そういう意味でぜひ今後ともお世話になりたい。

・ボランティアに参加してもらうのに誰でもよい、というわけではなく、受け入れたい人のイメージ、どんな活躍をしてもらいたいのか、具体的に考える必要があること。

また、ボランティアをする理由には様々な理由があること。

・どんな人がほしいかイメージを持っておくことも大切と思いました。

・個人的に孤立、災害に対して今の社会には、大きな不安を感じており、協会そのものにもっと知りたくなった。

ボランティアさんの居場所でもあること！

コーディネーターになりたいとさえ思いました。

・個人的にソーシャルワークを本業にしている為、ボランティアさんに求めることは、お手伝いだけに限らないと思っています。又、現在の活動に参加している人達の構成によっても、変化があるのか、それにどう対応していくかを考えています。

・あらためてコーディネーションの手法を意識した。

・時間が少なかったので少し残念。

・きちんと聴きたいので、別立てで講演してほしいです。

・またお話をききたいと思います

3 どちらでもない

- ・コーディネーションについてよく知らなかったため、少しでも話を聞けたのはよかった。
- ・ボランティアの方になにをしてもらうのかのプログラム作りは必要と思いました。・発信すること。
- ・それぞれの苦労話は参考になった。
- ・もう少し時間ほしい

4 やや不満

・講演という形ではなく、事例報告に関するコメントという形式がよかったと思います。後半はちょっとそんな感じでよかったと思います。

5 不満

- ・話しが長い。止まらず話されていた。残念である。

設問3 今後の「地域こども支援団体連絡会」に期待すること、取り上げてほしいテーマがあればお書きください。

- ・意見交換できる場所が欲しいです。自分の活動の発表、他の人の活動発表も聞いて参考にしたい。
- ・他の活動されている人の声も聞きたい
- ・お互い、どんな活動をしているのか？等の取り組み、情報交換が聞きたかったのですが・・・
- ・質問時間を次はもうけてほしいです。
- ・世代間交流の中で地域こども支援の事例発表を増やしてほしい
- ・各地の事例やそれに対するサポートや現代の社会生活、皆さんの存在意義を感じてもらえる集まりになればと思う。
- ・地域、学校との関わりはどうしているのか。
- ・こども食堂だけでなく「広く子どもを見守る」という視点で事業を。
- ・なかなか参加できませんでしたが、これからぜひ積極的に参加したいと思いました。

設問4 その他、ご意見・ご感想など、ご自由にお書きください。

- ・盛り沢山だったので時間が足りなかった
- ・ボランティアに来る≠善人の活はあまり意識はしていなかったことです。SNSの弊害。そのとおりだと思います。大学生(若い方)も私たち年の少しいった人もフェイスtoフェイスのトレーニングがボランティアを通じてできればいいと思います。
- ・「ごはんはついで」この言葉は深いと思っています。社会で育ちあうことを広め、サポートしたい。「こども食堂」←21世紀型の町内会だと思います。
- ・私達は地域を一つの単位として考えていますので、今日のお話は参考になる事はあまりありませんでした。「地域の人間は地域で守る」をいつも心に置いて活動しています。イベントは各種団が頑張っている。私達は学習支援と食事と生活支援。
- ・保険についてはナルホドという事がありました。よい経験をいたしました。(地域こども支援団体連絡会)
- ・経年で様々な困りごと、悩みが出てくるので、共有して、解決できるよう支援していただきたい
- ・少人数で情報交換できる会もあればうれしいです。
- ・ありがとうございました
- ・初めての参加でとても参考になりました。有難うございました。